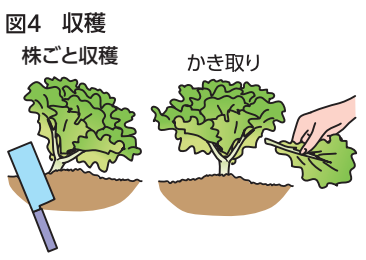
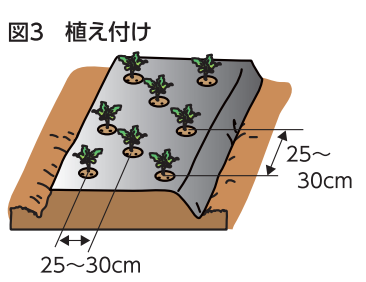
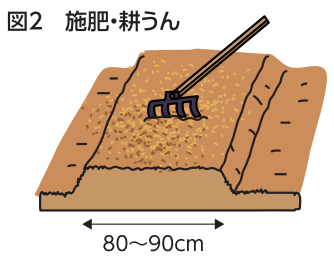
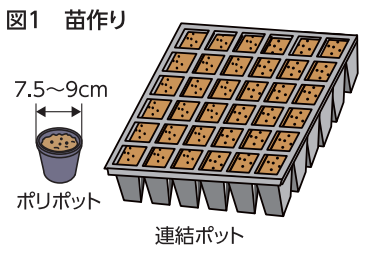


**チャレンジ!**  
**野菜作り**  
 色鮮やかな  
 サラダを楽しむ  
**リーフレタス**

リーフレタスは、結球しないレタスの仲間で、赤葉品種はサニーレタスの名前でもおなじみです。さまざまな品種があり、カラフルなサラダが楽しめます。

日当たりや風通しがよい場所で育てれば、病害虫も少ないため、家庭菜園向きの野菜です。

品種は赤葉の「レッドウエーブ」(サカタのタネ)、「レッドファイヤー」(タキイ種苗)、緑葉では「グリーンウエーブ」(タキイ種苗)などが育てやすく、おすすめです。



**「苗作り」**

生育適温は15~20℃なので、春は3~4月、秋は9月が種まき時です。連結ポットや小型のポリポットを使い、1カ所あたり4~5粒まきましよう(図1)。暗いと発芽しにくいので、種がわずかに隠れる程度に土をかけます。

日差しが強すぎる場合、新聞紙で覆い、その上から水をやると種が守られ、土も保湿できます。その後、葉が触れあわない程度に間引きして本葉4~5枚の苗を作りましょう。

**「畑の準備」**

苗作りと並行して、畑の準備も進めます。苦土石灰を1㎡あたり約100gまき、土とよく混ぜて1週間ほどなじませます。

次に、幅80~90cmの栽培床を作り(図2)、植替え1週間前に堆

**「肥」**

肥2~3kgとN・P・K比が各10%の化成肥料(固形30号など)を100g施します。

また、リーフレタスは葉の間に土が入りやすいので、黒のポリマルチを張って、葉が汚れないようにしましょう。

**「植え付け」**

300gほどの大株に育てたい場合、条間・株間とも25~30cm開けて植え付けます(図3)。プランターなどで育てる場合は、株間を15cm程度にして小株から収穫を始めてもよいでしょう。

**「管理と収穫」**

種まきから、2カ月ほどで収穫適期を迎えるので追肥は不要です。また、害虫は少ない方ですが、アブラムシには注意します。

リーフレタスは若取りがおいしいので、生長に応じて芯を切って収穫します。家庭菜園

では、下葉を一枚ずつかき取り、長く収穫を楽しんでも良いでしょう(図4)。

その場合は、化成肥料を1カ月に1度、100g程度施します。

本文で紹介した種子などは、JAでお取り寄せできます

**肥料・農薬のご紹介**

家庭菜園にもオススメ

**ダントツ粒剤 (1kg)**



気温が上がる4月は、春夏野菜の準備に忙しい時期です。

しかし、気づくとアブラムシやコナジラミがせっかく植えた苗を、ダメにしている事があります。



**そんな時には「ダントツ粒剤」!**  
 苗を植える穴のまわりに、1株あたり1gまけば、1~2カ月にわたり防除効果を発揮します。

花卉やレタス、キャベツ、ナス、トマト、ブロッコリー、キュウリなど多くの作物に使えます。

※ご不明な点は各営農センターへお気軽にお問い合わせください